



こんにちは、岡田よしひでです

2021年11月28日 発行
県議会活動報告ニュース
NO.106

自宅 南国市浜改田 430-1
TEL/FAX 865-2932
携帯 090-4337-4527

岡田よしひで事務所 864-2426 南国市駅前町 2-5-11 県議会共産党控室 823-9524 高知市丸ノ内 1-2-20



県史を監修する藤井京大名誉教授が挨拶（オレンジホール）

高知県政150年記念式典& 県史編さん開始記念シンポジウム
高知県は、明治4年7月の廃藩置県から150年の節目を迎えたことから23日、オレンジホールで記念式典を開きました。私も出席しました。
式典では、主催者、来賓挨拶に続き、県政150年を振り返る記念映像が上映されました。板垣退助や植木枝盛といった自由民権の時代から、高知大空襲、南海大地震などの苦難を経て今日までの県政の流れがコンパクトにわかりやすくまとめられていました。



1960年代から70年代にかけて刊行された高知県史 10巻

引き続き、高知県史編さん開始記念シンポジウムが開かれました。新しい県史の編さんは半世紀ぶりです。これから20年をかけて通史編など35巻の刊行を計画しています。
まず県立高知城歴史博物館の渡部淳館長が「研究者だけでなく県民も参加した県史編さんを」と挨拶。
続いて県史の監修にあたる藤井讓治・京大名誉教授からご挨拶がありました。
そして、『高知県の中世』―史料と人物、歴史を伝える営み―と題して、

東京大学史料編纂所の本郷恵子所長が記念講演。鎌倉時代の流通や支配の構図、絶海中津らの吸江寺の文化など、土佐の中世を語りました。

最後に、歴史研究に携わる県出身の若手4人によるリレートークがありました。それぞれから、歴史に関心を持った経緯や、いまどういう研究、活動を行なっているか、そして「質量とも充実した内容に」など県史編さんへの期待が寄せられました。

全国過疎問題シンポジウムinこうち

過疎地域の持続的発展をめざす「全国過疎問題シンポジウムinこうち」が11月4日、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮してオンラインで開催されました。優良事例として、いしはらの里協議会（土佐町）、NPO法人いななかみ（香美市）が表彰されました。高知県が取り組んでいる地域支援員活動や、高齢化のもと地域活動をすすめる大豊町のとりくみが紹介されました。

おむすび通信 (106)

物部川の濁水は長年の課題ですが、2005年から開かれている濁水対策検討会がメンバーを大幅に増やして議論を深め、本年度中に対策方針をまとめることになりました。
土砂流出を防ぐには山林保全が必要です。シカの食害を防ぐことやダムに溜まる土砂など抜本的対策が必要です。